


## 平成31年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	NPO法人スマートらいふネット
実施事業名	女性スタッフによる女性のための検査・相談事業 「レディースデーPart II」(HIVおよび梅毒等の即日検査と相談事業)
団体代表者	理事長 毛受 矩子
事業の目的	<p>&lt;目的について&gt;</p> <p>1. 若い女性の梅毒が増加している今、梅毒感染はHIV感染を引き上げる事から、女性のみを対象にしたHIV、梅毒等性感染症の早期発見、早期治療を目的として検査を実施した。</p> <p>2. 公的機関が行うHIV検査の受検者は若干減少してきている。当chotCASTスマートらいふネットも同様であり、中でも女性の受検者は年々減少傾向にあり総受検者の20%強となっている。</p> <p>他者の目を気にして受けづらい女性の気持ちに寄り添い、環境に配慮した受検しやすい検査機会が求められていると考えた。そこで昨年度に引き続き「女性スタッフによる女性のための検査相談体制」レディースデー、Part II」としてより多くの受検者増を図り、HIV等性感染症早期発見を目的として実施した。</p>
事業の達成度①	<p>&lt;検査概要&gt;</p> <p>女性スタッフによる女性のための検査相談体制「レディースデー、Part II」を以下の日程で実施した。①10/16(水)、②11/20(水)、③12/4(水)、④12/18(水)の4回の即日検査を実施した。</p> <p>検査受付時間は17:00～18:30 とし、検査項目は「HIV、梅毒、B型肝炎、クラミジア検査の4項目」とした。</p> <p>(注):今までの「レディースデー」取り組みの実績の評価から、平成31年度は大阪府予算化の下で前期4回分の「レディースデー(HIV、梅毒、B型肝炎3項目)の実施」がされた。そこで本エイズ予防財団助成金事業の「レディースデー、Part II」4回分実施は後期に計画実施する事となった。なお、「③12/4(水)、④12/18(水)」を「世界エイズデーイベント事業」と位置付けて取り組んだ。</p> <p>&lt;達成度&gt;</p> <p>①女性の受検者は大きく増加:本事業申請時における受検者定員を30名として取り組んだ。実際の総受検者数は132名あり、1回平均受検者数 33名/回)と目標値を大きく増加した。定員目標値の1,1倍多い受検者があった。</p> <p>この総受検者数は昨年度受検者数(120名)よりも多く、また定例検査日の女性受検者平均6名/回(H30年度平均)より大きく上まわった受検者数であった。</p> <p>* 3年前からNPO自主的取り組み「レディースデー」から始まった今回の「レディースデー part II」は既に「女性のための検査日」としてchotCASTに定着し始めてきていると考える。</p> <p>②女性のHIV含む性感染症の早期発見検査としての意義は大: 感染率の高いクラミジア検査を導入する事でHIV含む性感染症感染予防と早期発見のための保健行動化に結びつける機会教育の啓発普及事業として大きな成果があったと考える。</p> <p>③他の県連企業との協賛が得られた: ザ・ボディショップや、ジェクスコンドーム会社との協賛ができ、女性のための優しい検査環境づくりができた。受検者の感想も「安心して受けられた」の声も多かった。</p>

<p>事業の達成度②</p>	<p>④教育関係者(養護教諭)との合同研修会の開催で今後の教育に貢献: 小、中、高校養護教諭向けの合同研修会が開催できた。「レディースデー検査結果」を報告し、今後の学校保健現場の性教育指導に貢献できた。</p> <p>⑤行政保健師との合同研修会の開催で今後の保健指導に貢献。: 現場の保健行政の保健師向けの研修会を開催し、「レディースデー検査結果」を報告し、保健行政における女性の性感染症予防への指導強化に貢献できた。</p> <p>⑥大学との合同広報宣伝活動で、大学生に対する性感染症早期発見の検査体制を広報宣伝できた: 大阪府下にある2大学に、行政との協働で学生向けの広報案内ビラ配布を行い、大学内講座で大阪府保健医療室医療対策課感染症G作成動画の「バイバイbai-doku」が放映でき、早期発見のための検査の重要性が広報できた。</p> <p>⑦2020年度は「レディースデー」取り組みを大阪府予算化で8回実施: 3年間のレディースデー取り組みの実績と受検者ニーズを受けて、2020年度は大阪府の事業として8回/年、chotCASTにて検査が実現される事となった。受検者ニーズから施策化できた事は大きな成果と考える。</p> <p>* 2020年度計画として「1回/月、夜間即日検査」を実施予定とする。「HIV、B型肝炎、梅毒3項目」であり、女性受検者ニーズの高いクラミジア検査は次の課題としたい。</p> <p>今後、女性にとり安心安全な常設のHIV検査機関として定着するよう期待していきたいと考える。</p>								
<p>事業実績</p>	<p>対象となった人数(実質)</p> <p>&lt;対象人数について&gt; 申請時には施設の制限、時間的性限から30名定員×4回=120名を対象とした。昨年度より定員を増やして実施したが、女性受検者ニーズは高く、定員を大きく増加した受検者数があった。</p> <table border="0"> <tr> <td>1回目:10月16日(水)17:00~18:30</td> <td>受検者29名</td> </tr> <tr> <td>2回目:11月20日(水)17:00~18:30</td> <td>受検者33名</td> </tr> <tr> <td>3回目:12月4日(水)17:00~18:30</td> <td>受検者34名</td> </tr> <tr> <td>4回目:12月18日(水)17:00~18:30</td> <td>受検者36名</td> </tr> </table> <p>総受検者:132名があり、目標値の1.1倍の受検者であった。</p>	1回目:10月16日(水)17:00~18:30	受検者29名	2回目:11月20日(水)17:00~18:30	受検者33名	3回目:12月4日(水)17:00~18:30	受検者34名	4回目:12月18日(水)17:00~18:30	受検者36名
1回目:10月16日(水)17:00~18:30	受検者29名								
2回目:11月20日(水)17:00~18:30	受検者33名								
3回目:12月4日(水)17:00~18:30	受検者34名								
4回目:12月18日(水)17:00~18:30	受検者36名								
<p>事業実績</p>	<p>1)「レディースデーPart II」の広報宣伝について 行政との協働で以下の部署に広報宣伝した。 ①大阪府・大阪市保健行政の窓口に案内ビラ設置 ②府下2大学に向けて案内ビラの配布 ③世界エイズデーイベントとして大阪駅前広場で案内ビラ配布 ④ザ・ボディーショップ4箇所店頭案内ビラ設置。 ⑤養護教諭研修会にて案内ビラ配布。 ⑥chotCAST受検者への案内ビラ配布。 ⑦他NPO法人(薬と医療の啓発塾、JHC、SWASH) ⑧他行政のイベント事業時に配布</p> <p>2)当日の検査環境づくりについて 女性に優しい、安心できる環境づくりとした。 ①検査スタッフは「全て女性スタッフ」として受検者女性が安心して受検できるようにした。 ②当日の会場に女性に人気のある「ザ・ボディーショップ」女性美容店員による「検査待合時間を活用したハンドトリートメント」を設けた。 ③受検者にはジェクスコンドーム会社の寄付による「コンドーム」をお土産に提供した。 ④感染予防への保健行動化を意識づける契機とする為に、感染率の高いクラミジア尿検査を加えて保健予防行動化に結びつけた。</p> <p>3)女性特有の「性に関する相談」について 女性の性に関する悩み「婦人科疾患」「妊娠と中絶」「避妊とピル」等々「性感染症」の裏側にある女性固有の悩みに女性医師、保健師の相談機会も設けた。</p> 								

事業実績

具体的な活動内容

1)検査会場光景



②「レディースデーPart II」案内ビラ

